

トピック その1

「消毒用アルコール
どこまで知っていますか？」



新型コロナウイルス感染防止対策で毎日当たり前のように使っている消毒用アルコール。

扱い方を間違えると、火災などの事故の危険性があることを知っていますか？安全な暮らしのために消毒用アルコールについて知っておくべきポイントをまとめました。

消毒用のアルコール今はたくさんあるなあ。

細かい表示はあまり気にせず使っているけどよく見ると「火気厳禁」と書いてある。

手指のアルコール消毒毎日しているから手が荒れるわ〜。

ハンドクリームは必需品だね。

実はアルコールの濃度によっては消防法で定める「危険物」になることを知っていますか？

アルコールを手指につけるとスースーすると思いますが、アルコールが蒸発して熱を奪っているんですよ。

蒸気に引火した炎は見えづらいの。

ポイント

- **アルコールの濃度が60%以上の製品は、消防法で定める危険物にあたります。** 容器に「第四類・アルコール類」と書かれていたら、危険物です。容器の表示を要チェック！
- 消毒用アルコールは蒸発しやすく、蒸気は引火するおそれがあるため、コンロや喫煙など火気の近くで使うのは大変危険です。**火気のない場所で使いましょう。** また、保管は直射日光を避けた場所で。
- 消毒用アルコールの詰め替えをする時は、蒸気が滞留する可能性があるため、**換気ができる場所で行いましょう。**

実験映像

手に消毒用アルコールを吹きつけライターの火を近づけると…



燃えていないように見えますが…



実際の燃焼状況はこちら

アルコールの性質についてはこちら



トピック

その2



「キャンプ用品の着火剤
どこまで知っていますか？」

バーベキューなどの屋外レジャーの本格シーズンがやってきました。最近では密を避けキャンプを楽しむ人も増えています。バーベキューやキャンプで欠かせないものとして着火剤があります。

着火剤も危険物でできているということを知っていますか？

着火剤の取り扱い時のポイントをまとめました。



わーい！
初めてのキャンプ
外は気持ちがいい～。

あなた
火起し頼むわね。

あれ？

火の着き方が
悪いな…。
消えたのかな…。
着火剤をつぎ足して
みよう…。

ちょっと
待って
ください!!

ゼリー状の着火剤は
使い方によっては
大変危険です!!

蒸発しやすく
引火しやすいの。

ポイント

- ゼリー状の着火剤はメチルアルコールが主成分のものが多く、蒸発しやすく引火しやすいので、着火剤の蓋を開けたまま放置せず、使いかけの着火剤は火気の近くに置かないようにしましょう。また、子どもには絶対に使わせないようにしてください。
- 明るい屋外では炎が見えにくく、まだ燃えていないと勘違いしがちです。燃えているところに着火剤をつぎ足すと、炎が大きくなったり、飛び散ったりして衣服に燃え移る危険性がありますので、絶対につぎ足さないようにしましょう。
- 万が一の事故に備えて、水を汲んだバケツなどを用意しておいてください。

実験映像

小さな炎の上にゼリー状の
着火剤をつぎ足すと…

急激に炎が！



実際の燃焼状況
はこちら





宝くじ^{☆☆}は、



図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちでみなさまの豊かな暮らしに役立っています。



一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>